

平成28年8月23日

平成28年度 四国企業防災戦略トップセミナーの開催

大規模災害からの復旧・復興に向けて
～企業の業務継続が地域の復旧・復興に繋がる～

四国には、本社や工場を四国に持ち、海外や国内の特定分野においてトップシェア（もしくは3割以上のシェア）や世界レベルの特殊な技術を持つ企業が100社を超えるなど、全国に誇れるオンリーワン企業が多く存在します。

一方、それら企業が、南海トラフ巨大地震などの大規模災害により被災した場合には、四国はもとより日本経済・世界経済へ多大な影響を及ぼすことが懸念されます。

本セミナーでは、東日本大震災により大きな被害を受けながらも、早期に立ち直った企業の事例を紹介頂き、事業を継続していくための課題や対策について、四国の企業との意見交換を行い、企業の大規模災害への備えを充実して頂きたいと考えています。

- 開催日時 平成28年8月31日（水）14：30～17：15（14：00開場）
- 場 所 サンポート高松 高松シンボルタワー かがわ国際会議場（タワー棟6階）
- 参 加 者 四国に本社又は工場がある企業、関係団体等
- 内 容 ◆開 会 14：30～14：40
◆基調講演【1部】14：40～15：50
「東日本大震災からの復旧とその後の防災対策の取り組みについて」
キリンビール株式会社 仙台工場
エンジニアリング・環境安全担当部長 吉田 典央 氏

- ◆基調講演【2部】16：00～17：10
「事業継続計画（BCP）による東日本大震災からの復旧・復興」
鈴木工業株式会社
代表取締役 鈴木 伸彌 氏

- 主 催 経済産業省 四国経済産業局 / 国土交通省 四国地方整備局

- ・この施策は、四国圏広域地方計画「No.1 南海トラフ地震を始めとする大規模自然災害等への「支国」防災力向上プロジェクト」及び「四国地震防災基本戦略」の取り組みに該当します。
- ・四国企業防災戦略トップセミナーは、国土強靱化基本計画等を踏まえ実施するものです。

国土強靱化

NATIONAL RESILIENCE

強く、しなやかなニッポンへ

問 い 合 せ 先

国土交通省 四国地方整備局 企画部
広域計画課長 福田 浩 （内線 3211）
防災課長 宮武 敏男 （内線 3411）
TEL （087）851-8061（代表）
（087）811-8309（ダイヤルイン）

【参考】◆四国地震防災基本戦略に関するHPは、下記のとおり
<http://www.skr.mlit.go.jp/kikaku/senryaku/index.html>

昭和南海地震から70年

今年は、1946年12月21日の昭和南海地震発生後70年目にあたります。四国地方も昭和南海地震により甚大な地震・津波被害を受けました。

四国地方整備局では、地域の皆様に、津波防災対策やその重要性について一層の理解を深めて頂く観点から、平成28年度は年間を通じて、津波対策に関する講演会その他行事の開催の機会に、昭和南海地震について改めて紹介していく予定です。

大規模災害からの 復旧・復興に向けて

～企業の業務継続が地域の復旧・復興に繋がる～

四国には、本社や工場を四国に持ち、海外や国内の特定分野においてトップシェア(もしくは3割以上のシェア)や世界レベルの特殊な技術を持つ企業が100社を超えるなど、全国に誇れるオンリーワン企業が多く存在します。

一方、それら企業が、南海トラフ巨大地震などの大規模災害により被災した場合には、四国はもとより日本経済・世界経済へ多大な影響を及ぼすことが懸念されます。

そこで、東日本大震災により大きな被害を受けながらも、早期に立ち直った企業の事例を紹介頂き、事業を継続していくための課題や対策について、四国の企業との意見交換を行い、企業の大規模災害への備えを充実して頂きたいと考えています。

開催日 平成28年8月31日(水)

時間 14:30～17:15(14:00開場)

場所 サンポート高松 高松シンボルタワー
かがわ国際会議場(タワー棟6階)
香川県高松市サンポート2-1

参加者 四国に本社又は工場がある企業、関係団体等

※一般参加の方については、当日、一般傍聴席(100席程度)を用意しておりますが、満席になった場合は、立ち見になります。

参加費 無料

主催 経済産業省 四国経済産業局 / 国土交通省 四国地方整備局

プログラム

- ・開会挨拶
- ・基調講演(1部・2部)
- ・意見交換会
- ・閉会挨拶

基調講演(1部)

(50分)

東日本大震災からの復旧と
その後の防災対策の取り組みについて

麒麟ビール株式会社

仙台工場 エンジニアリング・環境安全担当部長

吉田 典央 氏



基調講演(2部)

(50分)

事業継続計画(BCP)による
東日本大震災からの復旧・復興

鈴木工業株式会社

代表取締役

鈴木 伸彌 氏



お問合せ先

四国地方整備局 企画部 広域計画課 TEL: 087-811-8309 FAX: 087-811-8408

大規模災害からの復旧・復興に向けて

～企業の業務継続が地域の復旧・復興に繋がる～

キリンビール株式会社

仙台工場 エンジニアリング・環境安全担当部長
吉田 典央 氏

昭和42年 1月 横浜市生まれ
平成 3年 3月 神戸大学工学部卒業
平成 3年 4月 キリンビール株式会社入社
平成12年 9月 キリンエンジニアリング株式会社出向
平成25年 1月 仙台工場エンジニアリング 担当部長
平成26年 4月 仙台工場エンジニアリング・環境安全担当部長

東日本大震災では津波による大きな設備的被害を被り、当日はお客様129名を含め481名が構内建物の屋上に避難して人的災害を免れた。

その後、ライフラインが途絶えるなか、不安を抱えながら人手による清掃作業を開始し、4月に工場存続が確定、本格的な復旧開始。9月には仕込再開、11月には出荷も開始し、工場見学も再開することができた。

津波避難時の行動の振り返りや設備の被害状況を確認して、防災計画の改善すべき点を9月までに見直し、改善内容を全社的な防災計画にフィードバックすることでBCPに繋げ、震災対策をより強固なものとした。



震災後の製品・資材が散乱した場内の様子



ビールタンクの倒壊状況



手作業による場内清掃の様子

鈴木工業株式会社

代表取締役
鈴木 伸彌 氏

昭和54年 3月 仙台市生まれ
平成13年 3月 東北工業大学土木工学科卒業
平成13年 4月 株式会社アクティオ入社
平成18年 9月 鈴木工業株式会社入社
平成20年 5月 鈴木工業株式会社取締役就任
平成26年 3月 鈴木工業株式会社代表取締役就任

平成20年8月からBCPの策定検討を始め、1年後に完成して以来、継続した訓練を行ってきた。その甲斐あって、東日本大震災では社員の避難や安否確認はもちろん、復旧活動にも迅速に取り掛かることができた。

震災後は初期のBCPの改善を図る取り組みとして、協力会社と図上訓練を行った。訓練を通して、協力会社との連携だけでなく、地域外の同業種と協力し合える関係が求められることに気付いた。他にも社内研修会での図上訓練や発電機を使用した炊き出し訓練なども実施しており、BCPの強化に努めている。



図上訓練の様子



復旧活動の様子



炊き出し訓練の様子